

# 全国消防救助技術大会 出場報告式

## ～北九州市から15年ぶりに出場～

5月に行われた「福岡県消防救助技術指導会」において「はしご登はん」の種目で当局の隊員が1位の成績を収め、8月23日に千葉県で行われる「全国消防救助技術大会」への切符を手に入れました。そこで、「全国消防救助技術大会」に向けて、出場報告式を開催し、消防局長に出場隊員が決意表明を行います。

### 1 日時

令和6年8月19日（月）10時00分～10時15分

### 2 場所

北九州市消防局（小倉北区大手町3番9号）  
3階「警防本部室」

### 3 出場報告式概要

- 出場報告
- 出場隊員決意表明
- 消防局長激励訓示

### 4 参加者

出場隊員1名、訓練指導者1名  
消防局長、各部長



### 5 主催

北九州市消防局

### 6 問い合わせ先

消防局警防課救助係 担当 秦・友田  
電話番号：093-582-3817

## 訓練種目 陸上の部（8種目）

全国消防救助技術大会で行う訓練は、陸上の部と水上の部に分かれており、それぞれの部に隊員ひとりひとりが基本的な技能を練磨する「基礎訓練」と、隊員個人の技能とともに隊員間の連携を練磨する「連携訓練」、さらに、使用する器材や訓練要領等を定めず出場隊員の創意工夫のもと訓練想定から救助方法までを披露する「技術訓練」があります。

陸上の部の訓練の内容は次のとおりです。



### はしご登はん(基礎)

標準所要時間 24秒

自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを15メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練です。



### ロープブリッジ渡過(基礎)

標準所要時間 28秒

水平に展張された渡過ロープ20メートル（往復40メートル）を、往路はセイラー渡過、復路はモンキー渡過するロープ渡過の基本的な訓練です。



### ロープ応用登はん(連携)

標準所要時間 16秒

登はん者と補助者が2人1組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを15メートル登はんする訓練です。



### ほふく救出(連携)

標準所要時間 1分10秒

3人1組（要救助者を含む）で、1人が空気呼吸器を着装して長さ8メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練です。



### ロープブリッジ救出(連携)

標準所要時間 1分15秒

4人1組（要救助者を含む）で、2人が水平に展張された渡過ロープ（20メートル）により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練です。



### 引揚救助(連携)

標準所要時間 2分30秒

5人1組（要救助者を含む）で2人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、4人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練です。



### 障害突破(連携)

標準所要時間 3分15秒

5人1組（補助者を含む）で4人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により5つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練です。



### 技術訓練

定められた手法、器材に縛られることなく、創意と工夫のもとでより安全で的確、迅速な訓練を発表する訓練です。